

2026-27年度 第2650地区スローガン

「新しい扉を開く」

ー 成長と持続のバランスをととのえる一年にー

第2650地区 [1961.3.28創立]

YAMATOTAKADA ROTARY CLUB

会 長	辻 修
副 会 長	杉 垣 輝 樹
幹 事	藤 井 宏 典
会報・資料委員長	堀 内 邦 郎

クラブHP <http://yamatotakadarc.org/> アドレス ytrotary@abelia.ocn.ne.jp

地区HP <http://rid2650.gr.jp/> Facebook <https://www.facebook.com/yamatotakada.rc/>

例会日時：毎週火曜日 12時30分 例会場所：経済会館 3階大ホール

事務所：〒635-0095 大和高田市大中 106-2 経済会館 4階 TEL 0745-52-4366 FAX 0745-23-3823

第6回(通算3086回)2026年(令和8年)8月25日号

幹事報告

◎熊本地震義援金の募金箱を本日と次週回します
ので、ご協力の程お願いいたします。

◎熊本地震に対する友愛基金からの支出について
は、諮問委員会で検討いたします。関係者の方は、
9月8日(火)11時、4階の会議室にお集まりください。

ゲスト

中野聖子様(株式会社尾花 代表取締役 卓話講師)

前田研一様(大和高田RAC会長)

松村實恵様(大和高田RAC幹事)

誕生日祝

松倉圭吾会員(8月18日) 鶴山洋子会員(8月21日)

創業記念日祝

藤原有騎会員(8月18日)

委員会報告及びその他報告

◎ローターアクト委員会 山本忠行委員長
大和高田RACから、会長の前田研一君と幹事の
松村實恵君が新年度のご挨拶に来ております。

◎ご挨拶 前田研一大和高田RAC会長
昨年度、30周年を無事終えることができました。そ
の際、記念行事としてマルシェを開催いたしました
ところ、大変好評でしたので、今年度も引き続き開催
させていただきます。3月6日(土)JR大和高田駅ロ
ータリーにて行います。また、現在、大和高田RAC
は会員数11名となり、活気あるクラブとなっております。
ただ、女性会員は1名でございますので、増強
のため大和高田RCの皆様のご協力をぜひお願い
いたします。

松村實恵大和高田RAC幹事

私たちは平成9年、10年生まれのコビですが、
京都のアクトは学生が多く、そちらへ参りますと、結
構おっちゃん扱いをされております。けれども、逆に
どっしりと構えて、高田に前田・松村ありということで、
これからも奈良を引っ張って、地区においてもいろ
んな活動で貢献していきたいと思ひます。どうぞ応
援をよろしくお願いいたします。

◎新庄地区情報集会 清水良彦世話人
9月8日(火)18時からヴェルデ辻甚にて新庄地区
情報集会を開きます。

◎高田地区情報集会 木下庄司世話人
8月25日(火)に高田地区情報集会をヴェルデ辻
甚で開催いたします。

◎趣味の会委員会 白井健雄委員長
樫原RCより奈良県下RC親睦ゴルフの案内が来
ております。10月16日(金)春日台カントリークラブ
で行われます。皆さんご参加をお願いいたします。

◎趣味の会委員会 芸術・舞台・文化を楽しむ会
松倉圭吾世話人

以前ご案内いたしました観劇の件ですが、それぞ
れリストを作成いたしますので、ご参加の方は私か
鶴山会員までご連絡ください。

本日の例会(8月25日)

大阪電気軌道と生駒

帝塚山大学文学部准教授

岡島永昌 様

次回の例会(9月1日)

会員卓話

岡本吉行 会員

8月18日の例会報告

会長の時間

残暑お見舞い申し上げます。お盆休みはゆつくり
されましたでしょうか。

先日、千葉県で豪雨災害が起こり、8人の方がお
亡くなりになり、170棟が浸水しております。本日は、
先月28日に起きました、熊本地震に関して募金箱
を回しておりますので、ご協力の程、お願い申し上
げます。

7月の例会でエリザベス・サンダース・ホームにつ
いてご紹介いたしました、その際、大和高田の愛
の集い学園についても少しお話させていただきました。
昭和30年代後半、障害のために学校にも行
けず、様々な困難に直面していた子供たちがたくさ
んいました。その子供たちの成長を願う、元市長の
森川保治先生の熱意が多くの人々の心を動かし、この
愛の集い学園が誕生しました。現在も幼稚園から高
校3年生までの子供たちが学園で生活しながら、学
校や幼稚園に通っております。そして、学園では、
個別支援計画に基づき、生活する力を高めながら、
将来の夢・希望に向かって、様々なことにチャレンジ
しています。

大和高田RCも寺田会長年度である2015-16年
度にパソコン10台とその指導研修の寄贈をいたしま
した。私はそのとき社会奉仕委員として愛の集い学
園にお伺いいたしました。そのときの理事長は、当ク
ラブの村野淳二会員でしたが、村野さんが学園にお
帰りになりますと、子供たちが「理事長先生！」と言
って玄関に駆け寄り、足元にまわりついていました。
私には、村野さんがお地蔵様のように見えました。
創始者の森川理事長の後任を選任する際、中井隆
男パスト会長が村野さんを強く推薦されたというこ
とを聞いております。やっぱり中井さんは人を見る目
があるなと思います。大和高田RCにはすばらしい
会員さんがいっぱいいるなと感激した次第でござい
ます。

4つのテスト〔言行はこれに照らしてから〕

1. 真実か どうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるか どうか

ニコニコ箱

・奈良RC会長エレクト中野聖子様、ようこそお越しいただきました。本日の卓話楽しみにしています。

辻 修 会員

・残暑お見舞い申し上げます。ゲストの中野聖子様をお迎えして。

藤井宏典 会員

・中野様、ようこそ大和高田RCへ。

木下庄司 会員

・中野聖子様をお迎えして。

松村實昭 会員

・本日もよろしくお願いします。

藤原有騎 会員

・藤原有騎さんの入会を祝して。

池田定嗣 会員

・堀川先生に施設でミニコンサートを開いていただきました。ありがとうございました。

上田麻子 会員

・射場さん、桜を守るイベントありがとうございました。

後日、参加された部下のお子さんより「楽しかった」と素敵なお手紙をもらいました。

吉田太郎 会員

・残暑お見舞い申し上げます。

脇本吉清 会員

・お誕生日を祝っていただいて。幸せです。

鶴山洋子 会員

・誕生日を祝っていただいて。

松倉圭吾 会員

・いいことがありました。

俵本和実 会員

・ニコニコに協力。

松村裕玄 会員

卓話「映画『大佛さまと子供たち』

東大寺奉納プロジェクト

株式会社尾花 代表取締役

奈良RC会長エレクト 中野聖子 様



中野聖子

本日は、『大佛さまと子供たち』という作品を、高精細デジタル化して東大寺に奉納するプロジェクトについてお話をさせていただきます。この作品は、1952(昭和27)年に劇場公開された、当時の大ヒット作品です。

この映画を撮られたのは映画監督の清水宏さんです。

映画ファンからは評判の高い監督さんで、溝口健二監督は天才と呼び、小津安二郎監督が「清水のような映画は自分には撮れない」と脱帽するぐらいの監督です。

清水監督作品の特徴としては、徹底した実写精神が挙げられます。「小賢しい、小手先の、作ったような演技ではなく、ありのままを撮り、それを映画に仕上げていくのが尊いのだ」とおっしゃっています。ゆえに、無作為なもの撮るのが非常にお好きで、得意とされたテーマは子供と旅でした。

今年は没後60年の節目に当たりますので、各地の名画座では上映会が行われています。1922(大正11)年に松竹に入社されて、21歳で監督になりますが、1943(昭和18)年の『サヨンの鐘』制作中にトラブルがあり、松竹を追放されてしまいます。その後は、大企業で映画を撮ることから離れて、京都や奈良で仏像を見て歩いて感銘を受け、これをカメラに収める生活を終戦まで送られます。

戦争が終わった後、行く先々で戦災浮浪児たちを引き取って、京都のお寺の一面を借り、8人の男の子たちと合宿生活をします。そして、独立プロダクションの「蜂の巣映画」を立ち上げられました。そこで作られたのが『蜂の巣の子供たち』(1948年)です。下関に引き上げてきた、行く当てもない復員兵と、かっぱらいをしながら生きていく子供たちが、大阪まで歩いていくというロードムービーです。そのヒットを受

けて制作されたのが『その後の蜂の巣の子供たち』『大佛さまと子供たち』です。

この映画には清水監督が引き取った8人の男の子たちが出演しています。これは、親戚縁者の方に彼らの無事な様子をお知らせできればという目的もあったそうです。

この『大佛さまと子供たち』の主人公は豊太君という男の子です。彼は奈良公園の東大寺の裏手辺りで野宿しながら、非公式の観光案内を道行く人たちにして、それでお志しをもらって生きています。

そのときの奈良公園は草ぼうぼうなんですよ。今みたいに1700頭も鹿はいないんです。食べちゃって、もう100頭を切ってたんですよ、戦後は。そんなふうには、当時の奈良の暮らしぶりもいろいろと見て取ることができる映画です。当時の奈良市内では、まだ黒い牛を飼って農作業をさせていたり、もう今は暗渠になってしまった川や橋がたくさん映っておもしろいです。また、二月堂でお百度を踏んでいるおばあさんの信心深い姿など、当時の人たちの姿が残されています。こういった映画は時代を記録する文化財だという思いをすごく強くいたしました。

この映画の上映会をするたびに札止め満員御礼になります。今年の1月に東大寺の金鐘ホールで上映会をした際も、大盛況でございました。お客様からは「戦災孤児のたくましさ悲しさ、戦後の奈良の情景に感動しました」「毎年東大寺で上映してほしい」「平和を祈る気持ちを再確認するのにとてもよい機会だ」などのお声をいただきました。それと共に、「もうちょっと鮮明な映像で見たい」「音声聞き取りにくい」というお声もいただきました。これだけご要望があるから、奈良でいつでも見られるようにしたい。できれば、大仏様の元にお迎えしたいなという気持ちがどんどん強くなってきました。

そんなとき、東大寺のお坊様方から「この映画はうちの図書館にあったほうがいいのでは」というお言葉をいただきました。このフィルムは国立映画アーカイブからお借りしたものです。お手紙を送りましたところ、持ち出すには様々な規則はありますが、高精細なデジタル化を行い、それをブルーレイにコピーして、東大寺境内のみで上映できるようにしてはというご提案をいただきました。

最初は費用を自分で出そうかと考えましたが、そこで聖武天皇の詔を思い出しました。「一枝の草一把の土を持ちて像を造るを助けんことを情願する者あらば、恣に之を聴す」とあります。そこでクラウドファンディングで一口3000円からご寄進を集めることにいたしました。結果は予想を超える大成功で、達成率188%もの資金を頂戴することができました。それだけ日本全国には、この作品に対して、また東大寺に対して熱い思いを持っている方がいらっしゃり、「戦後81年たつて、当時のことをどのように継承していくか」という問題意識を持った方々がたくさんいたんだということを教えていただきました。ほかにも市内の企業様、東大寺の奉賛会の会員様からも資金を頂きまして、ただいま鋭意作業をさせていただいております。

来年の1月9日から10日、完成記念奉納上映会を東大寺総合文化センター金鐘ホールで行いますので、ぜひお越しください。これからも子供たちにこの映画を見てもらう機会を年に1回は作っていくことが、私の使命かなと考えております。

出席報告	会員 総数	出席 義務 会員数	義務 会員 出席数	義務 会員 欠席数	義務 会員 MU	出席 免除 会員数	免除 会員 出席数	免除 会員 MU	出席率
8月18日	81	56	50	6	0	25	13	0	91.30%
8月4日	81	56	45	11	2	25	19	1	88.15%
7月28日	80	55	49	6	0	25	16	1	91.67%

※食品ロスの削減に努めましょう。(8月4日の弁当残数は6個)